令和３年度高志中学校第５回卒業式　式辞

日ごとに暖かさが増し、春風が花の香りを運んでくれる季節となりました。

本日、福井県立高志中学校の第５回卒業証書授与式を挙行するにあたり、ＰＴＡ会長小林一朗様ならびに保護者の皆様の御臨席を賜り、５期生の卒業を祝福できますことは、この上ない喜びであります。
卒業生、教職員を代表して、心から御礼申し上げます。

ただいま、卒業証書を授与した９０名の皆さん、卒業おめでとう。
皆さんは、平成３１年４月、高志中学校の５期生として本校に入学しました。皆さんの入学後間もなく元号が改まり、日本全体が新しい時代の幕開けを喜びましたが、その年の終わりごろからは新型コロナウイルスの感染拡大が世界中を混乱に陥れました。昨今では、ロシアによるウクライナ侵攻のニュースに、世界中の人々が衝撃を受けています。既存の価値観が通用しない時代となり、不確実性が増す一方です。

このような中、皆さんは、高志中学校で極めて大切な時間を過ごし、貴重な経験を重ねてきました。
各教科の学習では、中学校の学習内容に加えて高等学校の学習内容も学び、たくさんの知識や技能を身につけるとともに、思考力や判断力、表現力などを高めました。
「高志学」での探究学習では、福井や日本、世界の現状を理解したり、問題点を発見し課題を解決するプロセスを経験したりしながら、イノベーションを起こすことのできる人に必要な視点や発想力などを磨きました。
部活動や学校行事等では、他者との協力、創意工夫、試行錯誤などを通して、社会性や独創性、やり抜く力などを高めました。
これらの能力や資質は、皆さんが地域社会や世界のリーダーとなり、新しい時代を切り拓いていくために欠かせないものばかりです。これからも、様々な学びを通して、さらに自分磨きを続けていってください。

皆さんの卒業にあたり、私から３つのことをお話しします。

１つ目は、「信じて疑う」ということについてです。
例えば、人の話を聞く時、皆さんは、「なるほど、よくわかった。」と話のすべてを鵜呑みにしながら理解してきたでしょうか。それとも、「なぜそのように言えるのか。」とか、「別の角度から考えるとどうだろうか。」のように考えながら理解し

てきたでしょうか。
　相手の言おうとしていることを理解しようとする際、言われたことを無条件で信じるのではなく、「それはなぜか？」「本当にそうか？」などの疑問を投げかけ、自分なりの答を探しながら聞くことは、非常に重要です。真の理解、自分事としての理解に近づくからです。
　本を読むときでも、先生の話を聞くときでも、親のアドバイスに耳を傾ける場合でも、様々な角度から問いを発しながら考え、自分なりに理解・納得するようにしてください。大切な選択や決断をする時も、「これで大丈夫」と自分の判断を信じる一方で、「なぜそうしたいのか？」「ほかの考えはないか？」など、疑うこともしてみましょう。
　そのようにして得た答えの一つひとつが、将来の皆さんの人生を支えてくれるものと確信しています。

　２つ目は、「正解か不正解かはわからない」ということについてです。
　ある場所から別の場所へ移動するとします。移動のルートは複数あり、目的によって選ぶルートは異なります。「時間」を手に入れたい人は最短ルートを、「感動」を手に入れたい人は景色を楽しめるルートを選びます。自分が何を手に入れたいかによって、最適のルートを選択する力が必要となります。
　ところが、時には目的に合わない道を選んでしまうことがあります。「時間」を手に入れるつもりだったのに別のルートを選んでしまい、予期しない「感動」に出会ったとします。それは、失敗でしょうか。不正解でしょうか。
　選んだ瞬間には、正解か不正解かはわからないものです。不正解に思えた選択が、後から振り返ってみたら、自分にとって大きな意味があった。実は、大正解だった。そんな人生が皆さん一人ひとりに訪れることを期待しています。
　正解か不正解かは、将来の自分にしかわかりません。今私に言えるのは、人生の岐路に立った時、自分の好きなことややりたいことを大切にしてほしいということです。心の声をしっかり聴いて、自分のルートを選択してください。そうすれば、あとから大正解が訪れる可能性が大いに高まるはずです。

　３つ目は、「自分の内面と向き合う」ということについてです。
　皆さんは、今、思春期の真只中にいます。思春期には、体も心も大きく変化します。認知や思考のしかたも変化します。抽象的な思考ができるようになったり、「もし～なら」という仮説で考えることができるようになったりすると言われています。
　そのおかげで、皆さんは、知性を伸ばし、自分の世界を広げることができているのですが、同時に、他者と自分の違いや理想と現実のギャップにも意識が向くようになりました。そのため、自分自身や学校、友人、家族などに関することで悩んだり、答えを見出せない自分に苛立ちを覚えたり、感情が不安定になったりすること

があったでしょう。
　それは、いま皆さんが、新しい成長のステージにいることの証なのだと考えてください。自分の中に生まれる新しい感情を否定する必要はありません。すぐに解決方法が見つからないときは、「ただいま、成長中！」と自分に言ってあげましょう。
　自分の内面と真摯に向き合おうとする人には、いつか「自分らしさ」という一生の宝物を見つけられる時が来ます。

　保護者の皆様、本日は、お子様の御卒業、誠におめでとうございます。教職員を代表して、心よりお祝い申し上げます。お子様たちがこうして立派に成長され、皆様のお喜びもひとしおのことと存じます。
　お子様たちには、失敗を恐れず、困難に立ち向かい、様々な経験を糧にしながら、確かな自己を確立できるようになっていただきたいと願い、私たちはこれまで支援させていただきました。
　本日、本校を卒業するお子様たちが、間もなく始まる高校生活においても、さらなる成長を遂げられますよう、これからも応援させていただきたいと思っております。
　この３年間、保護者の皆様には、本校の教育活動に対しまして多大なる御理解と御協力を賜り、心より御礼申し上げます。今後とも、高志中学校・高志高等学校への御支援をよろしくお願いいたします。

　最後に、卒業生の皆さん。
　皆さんのこれまでの頑張りのお陰で、高志中学校は今まで以上に素晴らしい学校になりました。本当に、ありがとう。
　今後も、高志中学校は、高志高校とともに、生徒の「なりたい・やりたい」をかなえる、ワクワクできる学校であることを目指します。
　皆さんは、「なりたい自分」「やりたいことに取り組んでいる自分」をしっかりイメージして、４月からの高校生活をスタートさせてください。
　そして、ここにいる在校生、さらには４月に高志中学校に入学してくる新入生のよき先輩として、後輩たちを温かく見守りながら、チャレンジする姿を示し続けてください。
　結びに、皆さんの更なる成長と飛躍を祈念し、式辞とします。

　令和４年３月２３日

福井県立高志中学校長
山　内　　悟